

自立支援協議会を活用した 地域課題の取組み

～事例提供～

滑川・中新川障害者地域自立支援協議会
地域生活支援部会

社会福祉法人新川会 四ツ葉園
施設長 藤木 和美

令和5年度 滑川・中新川障害者地域自立支援協議会 地域生活支援部会

令和5年度部会テーマ

『引きこもりケースの居場所設置のために
各々ができること、必要なこと』

○委員構成

相談支援事業所	4名
知的障害、身体障害、精神障害の障害当事者、家族会	3名
滑川市、立山町、上市町、舟橋村の社会福祉協議会	4名
滑川市、立山町、上市町、舟橋村の福祉課・介護課	4名
地域の総合病院	2名
中部厚生センター	1名
中新川広域行政事務組合	1名
障害者入所施設	1名
計	20名

滑川・中新川
障害者地域
自立支援協議会

【市町村構成】
滑川市、立山町、
上市町、舟橋村

【専門部会】

・相談支援部会

・地域生活支援部会

・障害児支援部会

・就労・日中活動支援部会

活動内容

第1回	○令和4年度の活動報告、現状の整理 ○令和5年度活動計画について ○意見交換(グループワーク) ～引きこもりケースの支援について～
第2回	○研修会「ひきこもり者の現状と支援等について」 講師 富山県心の健康センター 保健士 ○意見交換 ～研修をうけて～
第3回	○事例検討 ひきこもりケース ○意見交換(グループワーク) ～各々の立場で出来る支援は？～
第4回	○意見交換(グループワーク) ～ひきこもりケースの居場所設置のために必要なものは？～

意見交換(グループワーク)

	出された意見や課題等(一部)
当事者への理解	○ひきこもっている状態でご本人の安心が守られていることも踏まえ、無理のない参加の呼びかけが必要
家族への理解	○まずは家族にご参加いただけると良いが、親が高齢化している介護予防的な内容もとりにいれてはどうか
財源	○富山県ひきこもり民間団体取組強化事業補助金 ○次年度からの資金源はどうするのか
場所	○立山町 みらいぶ・くつろぎ大広間(オレンジカフェ使用場所) ○パーテーション使用など、個別の空間も必要
日時	○月に1回が定着するように ○令和6年7月開始を目指したい

	出された意見や課題等(一部)
活動内容	○ゲームやeスポーツを通して、在宅でも参加できるようにしたらどうか ○おやつを出すなら、就労事業所の商品を使えばどうか ○隣接している図書館との協働も考えられる ○講師を招いて、作品づくり ○受付や名札はどのようにしたら、本人に負担が少ないのか ○招かれるだけでなく、役割を持っていただく (フードドライブ等社協活動への手伝い)
その他	○会の名前は どうする バッチリわかりやすいものがあるのか、フuzzyなものがあるのか ○広報はどのような形で、誰にむけてが良いのか ○チラシ、各市町村広報誌、インターネット、ケーブルテレビ等の活用はどのようにしていけばよいか ○専用電話があればよい